小選挙区制度が日本の

たのに、二大政党政治が

ります。中選挙区で3回 は計り知れないものがあ 政治にもたらした悪影響

衆院選挙制度どうあるべきか

各党議員が語る

を続報します。 か、各党議員の談話 行制度をどうみる どうあるべきか、現 衆院の選挙制度は

機を感じています。 とは想像しませんでし なります。政治の劣化と た。民主主義と政治の危 痛切に感じる

時代がくる 信頼されない政治」 私は国会に出て26年に

郎元行革担当相(衆院議員 座制の強化とあっせん利 していましたが、小選挙 得罪の強化で十分であっ 区制導入の時、本来、連 選している私自身が、実 感していることです。 小選挙区で5回、 私自身は当初から反対

連続当

反映されなくなりまし た、なにより少数意見が が大変強くなった。ま の配分権をもつ党執行部 方、公認権と政党助成金 治家が少なくなった。他 なった結果、自立した政 政治家が正論を吐けなく るをえない、したがって がないと当選しないから すまない。半分以上得票 政治家への新陳代謝がす 挙区制のもとで、有能な 政策が八方美人にならざ どういうことか。小選

壊してしまいました。 して、民主主義の基本を いう言葉につられて導入 将来を予測せずに、政権 いいとか、小選挙区制の 交代ができる制度だ、と のに、小選挙区になって の民主政治の原点である なってきています。 に意見を言えるのが本来 から、そこが機能しなく 自由闊達(かったつ)

国会議員が少ないほど、 吹聴している暴論です。 今回、自らの反省もなく と真っ赤なウソの論調を を削る」論は、かつて「小 声高にいわれます。 張ったマスメディアが、 反対するのは守旧派だ」 選挙区制は政治改革だ。 員は身を削る努力を」と 税の前に国会議員や公務 しているのは「身を削 る」論です。「消費税増 そのうえに最近、心配

> うか。 るほど「いい改革だ」と いうことになるんでしょ 行政マンの待遇を悪くす

す。 80削減はもってのほかで る民主党政権の比例定数 多い。マスメディアの誤 がついて反省をする人が 入に熱心だった政治家 った「身を削る」論に も、いま、その誤りに気 最近では、小選挙区導

と考えています。 超えて進めるべきときだ 抜本改革の議論を党派を すと断言します。日本の の基礎になる選挙制度の 政治を立て直すため、そ 表並立制は民主主義を殺 私は、小選挙区比例代

政治に危機もたらした小選挙区制

【記事より抜粋】

第1回掲載「衆院選挙制度どうあるべきか」

自民党:加藤紘一元幹事長、公明党:東順治副代表、社民党:中島隆利副幹事長、

たちあがれ日本:園田博之幹事長、新党改革:荒井広幸幹事長の談話(平成24年2月20日掲載紙面)

に続く 2012 年 2 月 23 日開催『衆院選挙制度の抜本改革をめざす議員連盟』(超党派) における第 2 回談話の掲載紙面